

# 平成29年度全国学力・学習状況調査について

羽島郡二町教育委員会

## 1 はじめに

平成29年度の全国学力・学習状況調査は、平成29年4月18日(火)に実施しました。  
この調査は、

- ・国語A、算数・数学A（主として知識に関する出題）
- ・国語B、算数・数学B（主として活用に関する出題）
- ・児童生徒質問紙（生活、学習を中心に選択肢で回答する質問）
- ・学校質問紙（学校の実態、指導等について選択肢で回答する質問）

で構成されています。この調査結果について、分析し、今後努力することや保護者や地域の皆様と一緒に取り組むことについてまとめました。

## 2 調査の概要

### (1) 学力調査の問題数

	国語A	国語B	算数・数学A	算数・数学B
小学校6年生（問題数）	15	9	15	11
中学校3年生（問題数）	32	9	36	15

### (2) 児童生徒質問紙

学校や家での勉強や生活について、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」、「どちらかといえば当てはまらない」、「当てはまらない」を選択して回答する質問で、小学校92項目・中学校94項目からなっています。

[質問例]

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。
- ・自分には、よいところがあると思いますか。
- ・将来の夢や希望を持っていますか。

### (3) 学校質問紙

学校における取組や人的・物的な実態、指導に関する質問で、小学校111項目、中学校109項目です。

[質問例]

- ・児童生徒数、教職員数、教員の経験年数等の基本調査
- ・本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くように指導しましたか。
- ・学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか。

### 3 児童生徒質問紙の結果について

次の項目で羽島郡二町の学校は成果を挙げています。

(質問43)「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。」

※ はいと答えた児童生徒は全国平均で小学校35%、中学校50%

この質問については羽島郡の小・中学校はすべて全国平均の値を上回っていました。特に、東小学校76%、笠松小学校63%、下羽栗小学校70%、岐南中学校76%、笠松中学校95%でした。

これは、各学校がボランティア活動を意図的・計画的に進めていること、活動に参加した児童・生徒を学校・地域が一体となって褒めたり、価値付けたりしてきたことが成果となったと思われます。

(質問33)「学校に行くのは楽しいと思いますか。」

※ はいと答えた児童生徒は全国平均で小学校55%、中学校47%

この質問については北小学校が61%というよい結果が出ていました。

これは、児童が話し合いを計画的に行い、自分たちで決めたことを実行するような取組がなされていることが成果となったと思われます。

(質問35)「学校で、好きな授業がありますか。」

※ はいと答えた児童生徒は全国平均で小学校78%、中学校53%

この質問については松枝小学校が87%というよい結果が出ていました。

これは、学力・学習状況調査の分析を丁寧に行い、問題解決に生きる「学び合い」の時間を意図的に設けていることが成果となったと思われます。

(質問37)「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。」

※ はいと答えた児童生徒は全国平均で小学校60%、中学校61%

この質問については、西小学校が70%というよい結果が出ていました。

これは、児童が自信をもって語れる学校や学級の自慢の活動が充実してきたことが、成果を挙げる要因であったと思われます。

この他にも、以下の項目等でもよい結果が出ています。

(質問32)「家で、学校の授業の復習をしていますか。」

[小学校 国平均23%→郡33%、中学校 国平均18%→郡27%]

(質問63)「授業で扱うノートには、学習の目標とまとめを書いていたと思いますか。」

[小学校 国平均68%→郡78%、中学校 国平均53%→郡73%]

学校では、ノートに課題と学習した内容、まとめを書く指導をしており、成果を挙げています。さらに、家庭学習の習慣が付いてきております。学ぶ材料の教科書とノートに身に付きつつある復習の習慣で、今後もさらに学力の向上が期待されます。



#### 4 学力学習状況調査（全国平均との差で高い教科は○、僅かに下回っている△）

	国語A	国語B	算数・数学A	算数数学A
羽島郡小学校	○	○	△	○
羽島郡中学校	○	△	○	○

##### （１）傾向について

全国平均値と比較すると、小学校では算数A、中学校では国語Bが僅かに下回っていましたが、概ね全国の平均値を上回っています。学校の授業改善や指導、児童生徒のがんばり、家庭での支援の成果といえるでしょう。

##### （２）分析

	国語A	国語B	算数・数学A	算数数学A
小学校	○俳句の情景を捉える問題 △同音異義語の漢字を書く問題	○具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる問題 △目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話す問題	○数量の関係を数直線上に表す問題 △正五角形は5つの合同な二等辺三角形で構成していることを理解する問題	○割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶ問題 △仮平均の考えから、測定値の平均を求める問題
中学校	○文脈に即して漢字を書く問題 △楷書と行書の違いを理解する問題	○話の論理的な構成や展開などに注意して聞く問題 △必要な情報を得るために見通しをもつ問題	○具体的な場面で一元一次方程式を解く問題 △空間における直線と平面の平行について理解する問題	○円柱の体積を求める問題や三角形の合同条件を書く問題 △錯覚の意味を理解する問題や範囲の意味を理解する問題、

#### 5 調査全体から

各学校では児童生徒の実態を客観的に見つけ、学校全体で学力を高めるように努めています。児童生徒も継続的に学習に取り組み、学力テストの結果や無回答率が下がっています。一方で、自己肯定感を高めることや学んだことについての達成感に課題もあります。

#### 6 ご協力願います

##### ○子どもはほめられて育ちます

子どもを褒めるときには、家庭の過ごし方の約束を作ることが大切になります。家庭学習の時間、お手伝いの内容、スマホやコンピュータの使い方などを決めて、必ずやりきらせて褒めましょう。時間やルールを守る生活をするとういことがあると子どもたちに実感させることができます。そのためにも、やりきって褒められる生活サイクルを確立させましょう。

##### ○いつも成長の願いをもって見守ってください

子どもに対して成長の願いをもって見守っていると、小さな成長や成果にも気がつくようになります。また、結果にはあられなかったことでも、努力した過程を認めることができます。そうすることで、期待にこたえようとする前向きな心、自己肯定感が育ちます。

子どもには無限の可能性が秘められています。どの子もよりよく生きたいという願いをもっています。が、その可能性や願いを秘めたままにさせない、前を向いて、素直に歩む子どもになるよう育てていきましょう。